ー腰の圧迫骨折で半身不随と闘う ゆうゆうちゃんー

野良猫（メス）が家にやって来て、懐くようになり、その3ヶ月後に4匹の仔猫達が産まれました。生後6ヶ月を迎えて、3匹のオス仔猫を去勢をしました。…ここまでは、とても順調で毎日ほのぼのとした楽しい日々を送っていました。

食事の時に猫たちが一斉に集まるため、これまでも何度か踏みそうになった事はあったのですが、踏みそうになってバランスと崩し避けた先にた仔猫1匹を誤って踏んでしまったのです。

今まで聞いた事ないようなわめき声を出しながら後3足を壁にぶつけながら、ずっと暴れまくっていました。

必死で「お願いだから、生きて～」「ごめんなさい！ごめんなさい！」と泣き叫んでいました。

どこを踏んだのかもわからないし、内臓とか破裂したんじゃないかといろんな事が頭に浮かんで、とにかく必死でした。

去勢でお世話になった病院へ連れて行くき、尻尾がダランと垂れてて「これは神経が通っていない状態で危ない」と診断を受け、レントゲンの結果、内臓は破裂してなかったのですが、腰の捻挫、骨が圧迫骨折をしてる可能性があると言われました。

排尿も自身では出来ないので、カテーテルを使って排尿してもらい圧迫骨折の場合、手術は費用もかかるし麻酔を使うため、この病院ではその手術は出来ないと言われました。

ただ預けてくださいとだけ言われ、その日、即入院になりました。

とても不安な一日でした。
とても寂しがり屋な子なので、病院で一人でいると思うと、夜も眠れませんでした。
翌日、病院へお見舞いに行きましたがストレスで他の病気になる可能性もあるし…と不安が募り（私も少し神経質になっていたと思います）
このまま病院に居ても、手立てがわからないので、入院の継続を勧められましたし、お忙しい中、一生懸命に対応してくださいましたが
一度、連れて帰る事にしました。
その時はカテーテルをつけた（縫いつけた）状態で帰ったので衛生的に良くないため、違う病院を探し、お医者さんにカテーテルの指導を受けさせて頂きました（本当にありがたい話です）。
そして、費用的なことと小さい身体で大きな手術を受けるのは心苦しく手術は受けない事にしました。
その後すぐ、私の未熟さで１度、腎兪炎になってしまい、その病院でまた助けて頂きました（ありがとうございます）。
以前聞いた事のあるホメオパシーも２〜３ヶ月程試してみました。
ご飯を食べている時（ご飯に集中してる瞬間を狙って後ろ足を座らせるようにしてます）
１度、後ろ足をピーンと上げてくれた事もあったのですがホメオパシーが切れて、そのまま、なんとなく続けていませんでした。
（ホメオパシーの先生には大変お世話になりました）
排尿以外は元気（?）に過ごしていましたし、カテーテルを使ってる日々に私もちょうど慣れ始めてきていたのだと思います。

ただ「カテーテルをずっと使い続けてる猫はあまり長命では無い」事も
お医者さんに言われていたので、治したい気持ちも残っていました。
そんな時、図書館でペットコーナーの本をなんとなく見ていたら
「ペット気功」という本が目に止まり、とりあえず借りて帰りました。
巻末に「セラピーカード」が貼られていたので、試しにゆうゆうに試す
とホメオパシーを試していた時のように足をピーンと上げたのです。
とにかくビックリしました。氣功を試してみたい氣持ちとまだ100%
信じられない気持ちも両方あって、すぐに決断する事が出来ずにいまし
たが、それから3ヶ月程経った頃、遂に試してみようと連絡をしました。
その時は、ゆうゆうが腰を痛めて、約6〜7ヶ月位経っていました。
気功を受け続けて約3ヶ月程経った頃、気功を受ける前の歩き方
（前足を使って腰から下を横に倒して後ろ足を引きずっていましたが、
胴体を起こして膝まずく(?)ような歩き方が出来るようになったのです。）
この時期に、ゆうゆうが初めて一日中、行方がわからなくなったことが
あって（無事見つかったのですが）、その事を吉井先生へ報告すると
「たぶん脳からの指示が下半身に送られて神経が繋がりかけたのかも
しれません、どちらにしても、今までにない変化があるとゆう事は
喜ばしい事だと思います。擦り傷は治ります、ゆうゆうちゃんがしたい
ようにさせてあげてください。よろしくお願いいたします」と温かい
お言葉を頂き安心しました。
ずっと遠隔気功を送って下さってる土本先生からも「良くなって来てて
本当に嬉しいです。お気持ちわかります」という優しい言葉を頂き
とても有り難く涙が浮かんできました。半信半疑で始めた「ペット気功」

ですが、だんだんと目に見える変化が起きてて、また元通りの健康な身体に戻って歩けるようになる希望が膨らんでいます。

この3ヶ月の間も、あまり目に見える変化がない時期もあってやはり難しいのかなぁ～と諦めかける時もありましたが、信じて続けて良かったなと思います。

本当に本当にありがとうございます。

個人的な意見になると思いますが、ゆうゆうの身体の事を通じてこういう目に見えない力を信じる事で、あらためて〝動物の力〟や〝人生観〟まで考えさせられている今日この頃です。